



みんなが主役のまちづくりへ

開館 火～土 9:00～17:30
日・祝 9:00～17:00

休館 月(祝日にあたる時は、その翌日)

「磐田市みんなが主役のまちづくり条例」が令和6年7月に施行されました。地域づくり・まちづくりの基本的な考え方や自分事として行動していくことができるような方向性が示されています。

磐田市市民活動センターは、地域づくりやまちづくりを支援するセンターとして、役割を担っていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。
センター長 三輪邦子

市民活動センターでは、地域や団体・個人をつなげる事業を行っています。今回は、地域支援として交流センターから相談を受けた2つの事例を紹介します。

《 市民活動と地域とのマッチング事例 ① 》

「防災・減災を目指したまちづくり」

市内の防災に関する団体で結成した“いわた減災ネットワーク連絡会”では、市民活動センター・磐田市危機管理課・磐田市健康増進課・磐田市社会福祉協議会と連携し、市民や団体と対話しながら、協働の視点を持って、出前講座の相談や開催などの支援をしています。

令和6年度 池田交流センター講座 「災害時の備え 防災講座」(全3回)

【現状と課題】

- ◆ 防災訓練の参加者が減少している
- ◆ 訓練内容のマンネリ化、防災意識の希薄化

【対応】

- ★ 市民活動センター支援による防災講座の実施

【新たな視点による防災講座】

能登半島地震の甚大な被害を教訓に、「明日は我が身」という視点で、南海トラフ巨大地震を想定した専門家の分析をもとに、今できる減災対策と命を守る心構えを学ぶ

【実施日】

令和6年6月29日(土)、30日(日)、7月7日(日)

◆市民活動センターに相談
防災に関わっている市民活動団体の視点や知識を借りたい!!

《市民活動センター》
いわた減災ネットワーク連絡会とマッチング

《いわた減災ネットワーク連絡会が協力・実施》
★ 指定避難所まで歩く危険個所の探索訓練
★ 栄養面を考慮した非常食づくり、非常用トイレ、段ボールベッドづくり体験など

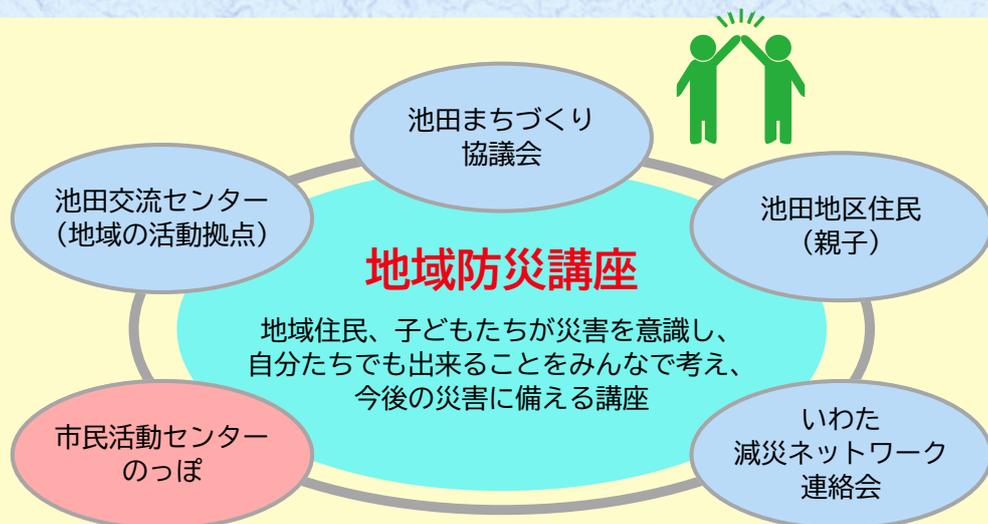


南海トラフの仕組みを学ぼう

通学路を探索



ここは水没しそう!



詳しくはホームページで紹介しています♪



《 市民活動と地域とのマッチング事例 ② 》

「対話によるまちづくり」

センター講座「市民ファシリテーター養成講座」受講者の有志により結成した、市民ファシリテーターのグループ「ファシリタティブ」は、ワークショップの開催補助などを通じて、地域の“対話の場づくり”への協力をしています。

令和6年度 福田中央交流センター講座

「磐田市南部地区 防災・減災を目指すまちづくり」

【相談】 地域について考えるきっかけになるようなワークショップを開催したい

【対応】

- ★ 講座の目的・目標から、ワークショップで話し合うテーマを考える
- ★ 話し合いの成果物はどうする？
⇒ 今回は模造紙と付箋を使い、参加者の意見を共有していく
- ★ 部屋の広さはどのぐらい？
(会場セッティング)
- ★ 1グループは何人ぐらいにする？

【日時】 令和6年12月7日（土）14：00～16：00

【会場】 福田中央交流センター

【対象】 磐田市南部にお住まいの方

◆市民活動センターに相談
ワークショップをどうやって開催したらいいの？

《市民活動センター》
ファシリタティブとマッチング

《ファシリタティブの協力》

- ★プログラム作成や、講座の準備への協力
- ★ワークショップの支援（講座にファシリテーターとして参加）



意見出し



全体共有



【主催者の感想】

《池田交流センター》

今回の講座は現実的な課題に向き合い、学習できたことが、大きな成果となりました。

《福田まち構想研究会》

皆さん、普段と違ってとても明るい顔・いい顔で議論していました。

● 《ワークショップとは》

- 参加者が主体的に考え、互いに協力しながら課題
- 解決や合意形成、学習を行う体験型の講座やグル
- ープ学習、研究集会などを指します。

☆☆ 大前提 ☆☆

ワークショップは楽しくやりましょう！

市民活動センターでは、地域と市民活動団体との間を「つなぎ」、共に地域課題の解決を目指します。

お知らせ

NPO法人及び市民活動センターの登録団体の「学び」を応援するため、広く市民が参加できる講演会や研修会等を行う活動費を「**磐田市地域づくり推進事業費補助金**」により支援します。磐田市役所HP [磐田ここからラボ](#) 検索
関心のある方は市民活動センターにご相談ください

